



影岡 俊範 議員

システム概要

水位計および簡易監視カメラは、LTE 携帯回線、電源等全てが一体化されており、現場での設置が容易です。小規模なシステムにも対応しています。



※河川監視カメラメーカー資料引用 当町周辺設置例ではない



河川は、国や県が監視カメラと水位計を流域各所に設置し、洪水監視体制の強化を図っている。重信川で

答 横山まちづくり課長

問 本年熊本の球磨(くま)川ほか、ここ数年の河川氾濫による水害が多発している中、当町を取り巻く河川の監視対策を問う。

現在、一級河川及び二級河川は、国や県が監視カメラと水位計を流域各所に設置し、洪水監視体制の強化を図っている。重信川で

答 山田福祉課長

は、松前町側に監視カメラ2か所、水位計2か所が設置されている。大谷川はカメラ、水位計各1か所。長尾谷川に水位計2か所、国近川に水位計1か所設置され、監視カメラの画像や水位計のデータはインターネットで公開されている。平成28年5月に設立された「重信川大規模氾濫に関する減災対策協議会」

令和2年8月に、河川流域全体で水害の軽減を図ることを目的として「重信川流域治水協議会」が設立された。松前町が管理する河川は、水防重要箇所

で、監視機器の増設、緊急

で、監視機器の増設、緊急情報メールを活用した河川情報のプッシュ型配信の導入で町長へホットライン等、更なる監視体制・情報伝達の強化に努めている。

ある長尾谷川と義農遊水池に町が監視カメラ3か所、水位計2か所を設置し、警戒水位に達したときには担当課職員等へ自動でメール配信するシステムを導入。設置していない河川は、梅雨や台風時に職員が巡回を行い水位の状況を監視しているが、近年の降り方の変化から今後、監視カメラや水位計の増設について検討していきたい。

また、職員の負担については様々な対策などにより軽減されてきていると考え、感染症対策のための人員の増は考えていない。

また、職員の負担については様々な対策などにより軽減されてきていると考え、感染症対策のための人員の増は考えていない。

河川監視と迅速な避難指示を

保育所・幼稚園におけるコロナ対応支援は

問 コロナ対応が続く中で保育士らの9割が「3密が避けられず、子どもや保育者に感染リスクがあること」をストレスの要因として挙げている。

① 医療従事者や介護職員らに支給される慰労金と同様に、保育士や幼稚園教諭らにも慰労金を

出す考えは。

② 消毒や清掃作業などを外部委託することも検討すべきでは。

答 山田福祉課長

① 保育士や幼稚園教諭は、日常的な感染症対策のため負担は増えているが、医療従事者等と異なり、感染

者や濃厚接触者と接しての対応はないので、慰労金の支給が必要とまでは考えていない。

② 消毒作業は、昨年3月から国の交付金を利用して週2回程度の消毒・清掃作業を外部委託して保育士の負担軽減を図っている。幼稚園は、職員が消毒

作業を行っているが、通常の作業の範囲内で、職員にとって大きな負担になっているとは考えていない。

また、職員の負担については様々な対策などにより軽減されてきていると考え、感染症対策のための人員の増は考えていない。

